

## コロナ禍における水産物流通対策について

新型コロナウイルス感染症の影響で外食需要が落ち込むなか、販売促進を目的とした流通対策を施すため、令和2年度に於いて当組合は、農林中央金庫の助成事業と連携し以下の対策を講じました。

### 1) みやぎ生協と農林中金と連携したカキPRイベント開催

- ・ 仙台市内のみやぎ生協2店舗で、かき(加熱用200g)を先着100名無料で配布
- ・ みやぎの生かき販促リーフレットを2万部作製、来店客に配布し消費拡大を啓発

県内主要生産物の一つであるカキは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、外食需要等が激減し、今期の平均価格は1,130円/kgと例年比で2～3割安での推移となっており、入札会の休止や生産調整を行わざるを得ない状況となっておりました。

### 2) 特定水産物供給平準化事業(新型コロナウイルス感染症緊急対応)を活用したホタテ買い支え

- ・ 国の助成事業を活用しホタテガイの買取り、加工、販売を実施

近年、長期化する貝毒に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響により外食需要が激減、数量や価格が著しく低迷したことにより、次年度に向けた生産意欲までもが低下していた。秋には種苗の投入も控えていたが、思うような水揚げが進んでいなかったことから漁場施設が空かず、種苗の投入が出来なくなることを懸念しておりました。

平準化事業に係る国の事業助成対象外である原貝の購入分野に於いて、買い支えにかかる費用負担を農林中金と連携して実施しました！！